



道徳だより No.2

東原庫舎西溪校

令和4年11月24日発行

文責 末次 由美子

道徳の研究発表会

10月14日に道徳の研究発表会を行いました。本校は、文部科学省・佐賀県教育委員会の指定を受け、全職員で授業改善を図っています。研究発表会では、2年生、6年生、9年生において授業を公開しました。当日は、佐賀県道徳推進協議会の方や佐賀県内の先生方とともに、道徳の授業をより良いものにしていくための研究協議を行いました。

2年生「かっぱわくわく」

南里香奈 教諭

2年生の子どもたちは、心優しいかっぱの役になりきって、わくわく水をわけてあげていました。親切な気持ちは、小鳥やきつね、そしてかっぱの友達にも伝わっていきました。優しさのバトンが繋がっていくことに気づいた子どもたち。そして、授業の最後には、多久公民館の館長さんやバスの運転手さんからの親切な気持ちに触れることができました。



6年生「心をつなぐピアノ～ピアニスト 辻井伸行～」

卯津江康憲 教諭

夢を持って努力する辻井伸行さんの気持ちを想像するために、表情を絵にしたり、役になりきって演じたりしました。参観された先生方から、「6年生であっても、役になりきっている姿がいい。また、アドリブがあったのも良かった。」という意見が出ました。



9年生「しあわせ」

高津依久真 教諭

「しあわせ」をめぐる、感じ方が違う場面では、どのように折り合いをつけていくのか、グループで話し合いました。授業の後半では、保護者の方からの「考えの違いはあっても、間違いはないのだから、相手の気持ちを考えることも必要」などのアドバイスを受けて、9年生は、「自分の意見も相手の意見も大切にすると」といった寛容の気持ちに触れることができました。



家読しよう！ ☆多おうちの方より

☆「かやねずみのおかあさん」…家族のことも大事にできる人に育ててほしいです。
(1年生の保護者さん)

☆「手品師」…自分の夢をかなえたい気持ちより、目の前の子どもに夢と希望を伝えることを大切にしていって心温まる話でした。
(6年生の保護者さん)

みんなの「心の木」～文化発表会～

🍁 けんばんハーモニカが みんなとあわせられて、そこががんばったとおもいます。(1年生)

🍁 みんなきんちょうしてたけど、大きな声で言っていたから「すごい」と思いました。わたしも大きな声で言えたから、お母さんにきこえていたらいいなとおもいました。(2年生)

🍁 文化発表会はたのしかったです。けれど、自分の番がくると、けっこうはずかしかったです。1年生と2年生がめっちゃ上手かったです。また4年生になったらがんばりたいです。(3年生)



🍁 ぼくは文化発表会で、練習よりか声が出せました。うれしかったです。1年生は初めてだったけど、大声で歌えていました。すごかったです。(4年生)

🍁 今回、合唱でふだん大きな声を出すのが苦手だけど、練習ではじょじょに大きな声を出せるようになっていって、本番でその声で歌えてよかったです。(5年生)

🍁 歌の練習のとき、5年生のときはばらばらだったけど、今年はたくさんの方がリーダーになってひっばってくれたので、とてもいい合唱になりました。(6年生)



🍁 ぼくが紹介したいのは、〇〇さんです。以前の文化発表会でもちゃんと声を出して歌えていたけど、今日の文化発表会では以前の文化発表会の倍、声が出ていてすごいと思った。〇〇さんはアルトという低い声を歌わなければいけないのに、ちゃんとしていていいなと思った。(7年生)

🍁 □□さんへ 自分のせりふが言えなかったときに、優しい言葉ではげましてくれたことが嬉しかったです。私も見習いたいです。そして、文化発表会を成功させることができ、楽しかったなと思いました。(8年生)

🍁 各学年、それぞれの個性を生かした文化発表会を見られたことが良かったです。最後の文化発表会を楽しく終わることができて、とても良かったし、嬉しかったです。本当によい文化発表会でした。(9年生)